

Sustainable Report No.154

プラ新法制定で求められる 資源循環のかたち



■ 世界を取り巻くプラスチック問題

- **プラスチックごみ**は、2016年のダボス会議から注目されるようになった。**海洋に流出**するその量は、世界全体で少なくとも年間800万トンあり、**生態系に影響**を及ぼしている。
- 海洋プラスチックごみ問題などの環境問題から、中国では2017年より**廃棄物の輸入規制**が強まり、日本では**国内におけるプラスチック循環促進の重要性**が高まっている。
- 2022年4月1日、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)が制定され、製造企業・使用企業・排出企業に**体制の整備や実施状況の把握等、公開が求められる**ようになった。

■ プラスチックに係る資源循環促進などに関する法律についての概要

ライフサイクル	法での措置事項 (概要)	対象	対象者	主務大臣	
設計・製造 ↓ 販売・提供 ↓ 排出・回収・リサイクル	プラスチック使用製品設計指針	プラスチック使用製品	プラスチック使用製品製造事業者等	経産大臣、事業所管大臣 (内閣総理大臣、財務大臣、厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣)	事業者
	特定プラスチック使用製品の使用の合理化	特定プラスチック使用製品 (12品目)	特定プラスチック使用製品提供事業者 (小売・サービス事業者等)	経産大臣、事業所管大臣 (厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣)	消費者
	市区町村による分別収集・再商品化	プラスチック使用製品廃棄物	市区町村	経産大臣、環境大臣	国
	製造・販売事業者等による自主回収・再資源化	自らが製造・販売・提供したプラスチック使用製品	プラスチック使用製品の製造・販売事業者等	経産大臣、環境大臣	市区町村
	排出事業者による排出の抑制・再資源化等	プラスチック使用製品産業廃棄物等	排出事業者	経産大臣、環境大臣、事業所管大臣 (全大) ^{※1}	都道府県

※1 再資源化事業計画に関する事項は、経産大臣・環境大臣に限る

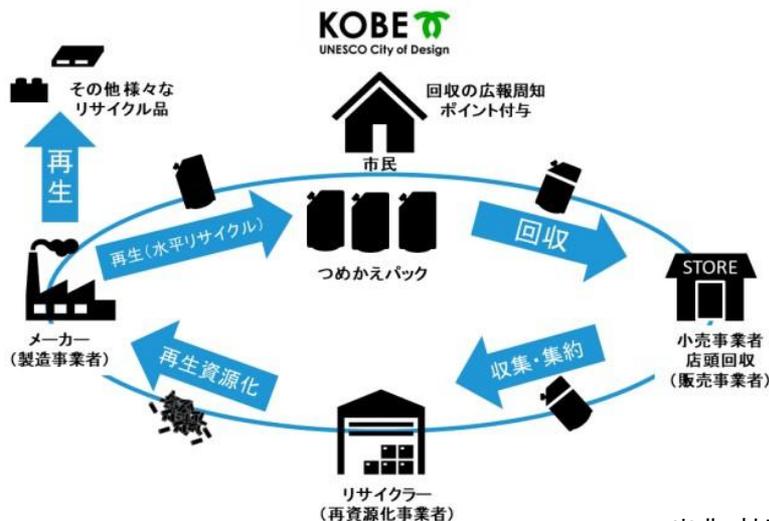
出典:環境省

対象企業それぞれに確認対応に追われる

■ 新プロジェクト『神戸プラスチックネクスト』の開始

- 2011年度から容器包装プラスチックの分別収集とリサイクルを実施する**神戸市**が、2021年に新しく**自治体・小売店・製造事業者・再生資源化業者**ら**19社・76店舗**をまとめてプロジェクトを開始。
- 洗剤・シャンプー・メイク落とし等の**詰め替えパックの水平リサイクル**を行う。スーパーマーケットも参加しているため市民が参加しやすい環境を整えている。
- 回収量は初年度目標量の5,000kgに対して**達成率10.8%**の580kgにとどまり、2022年4月末以降の回収量の報告は更新されていない。

■ 『神戸プラスチックネクスト』体制図(左)と総回収量(右)



開始から7ヶ月で、詰めかえパック33,667枚、約580kgを回収!
クラシエホールディングス、サンスター、シャボン玉石けんが新加入し、
プロジェクトへの参画企業は合計19社に!

出典: 神戸プラスチックネクスト詰めかえパックリサイクルプロジェクトチーム

再生利用・水平リサイクルを謳うが

■ 今後求められる体制づくりとは

- これからのものづくりにおいて、プラスチックの**使用量削減と容器材料の見直し**は欠かせない。
- 再資源化を前提とした資源の回収スキームが、全国に展開される体制整備が理想である。
- 各企業が使用・排出しているプラスチックを把握し、リサイクルしやすい素材を選定するには、プラスチックの**性質や使用材料によっては配合比率まで専門性高く把握**していく必要がある。

■ プラスチック再生に向けて理解を深める

プラスチック破碎実験で故障した破碎機たち。各素材の性質を正しく理解しないと大きな事故に繋がる。



画像: 筆者撮影

■ 汎用的なプラスチック33種

プラスチック	熱可塑性樹脂	汎用プラスチック	・ポリ塩化ビニール ・ポリプロピレン ・ABS ・ポリエチルメタアクリル ・ポリスチレンテレフタレート ・ポリエチレン ・ポリスチレン ・AS ・ポリ塩化ビニリデン
		汎用エンブラ	・ポリアミド ・ポリカーボネート ・ポリフェニレンエーテル ・ポリブチレンテレフタート ・高分子化ポリエチレン ・ポリ弗化ビニリデン
		エンジニアリングプラスチック	・ポリサルホン ・ポリエーテルサルホン ・ポリフェニレンサルファド ・ポリアリレート ・ポリアミドイミド ・ポリエーテルイミド ・ポリエーテルエーテルケトン ・ポリイミド ・液晶ポリマー ・ポリテトラフロロエチレン
	熱硬化性樹脂	・フェノール ・メラミン ・シリコーン ・ユリア ・不飽和ポリエステル ・エポキシ ・ポリウレタン	

表: 筆者編集

混ぜて使用することもあり、再生を行う前に必ず調査と試験が必要。

プラスチック再生の道はまだまだ前途多難なことばかり

■ 環境に配慮した4つのこだわり

- ① フィルムの中着部分をカットし、短くしました。
- ② 巾着に使用していたテープを無くしました。
- ③ 商品を束ねるテープを短くしました。
- ④ 商品を入れる段ボールサイズを小さくしました。

■ CO2排出量を30%削減

- ① 包装資材(包材の製造と廃棄)
- ② 箱詰め(ダンボールサイズ変更)
- ③ 配送時(製造工場～物流センター)

■ パッケージ新によりプラスチック使用量28%削減



出典: 日本ハム株式会社

■ 参照・引用資料

- 環境省,「令和元年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」,2022年9月2日参照(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r01/html/hi19010301.html>)
- 環境省,「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について」,2022年2月発行(<https://plastic-circulation.env.go.jp/wp-content/themes/plastic/assets/pdf/pamphlet.pdf>)
- 神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチーム,「神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働でつめかえパックの「水平リサイクル」を目指して、全国に先駆けたプロジェクトを開始「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」」,2021年9月29日
(<https://kobeplasticnext.jp/pdf/press-tsumekaepackrecycle210929.pdf>)
- 神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチーム,「公式サイト」,2022年9月2日参照(<https://kobeplasticnext.jp/next/tsumekaepackrecycle>)
- 日本ハム株式会社,「シャウ、断髪」,2022年2月1日,<https://www.nipponham.co.jp/seg/>

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先: info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは? —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中